慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	アントワーヌ・リルティ氏講演会について
Sub Title	Sur la conférence d'Antoine Lilti
Author	井上, 櫻子(Inoue, Sakurako)
Publisher	慶應義塾大学日吉紀要刊行委員会
Publication year	2020
Jtitle	慶應義塾大学日吉紀要. フランス語フランス文学 (Revue de Hiyoshi. Langue et littérature françaises). No.70 (2020. 3) ,p.71- 71
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10030184-20200331-0071

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

アントワーヌ・リルティ氏講演会について

井　上　櫻　子

2019 年 10 月 14 日から 10 月 27 日まで、公益財団法人日仏会館 2019 年度日仏学者交換プログラム、慶應義塾大学小泉基金、南山大学、文部科学省科学研究費・基盤研究（C）（課題番号 17K02601）から助成を受け、フランス社会科学高等研究院教授アントワーヌ・リルティ氏を日本に招聘した。

アントワーヌ・リルティ氏は、啓蒙時代の社会史・文化史に現代の社会科学的視点を取り入れた斬新な研究で近年高い評価を得ている気鋭の歴史家で、2006 年から 2011 年までフランス歴史研究を代表する『社会経済史年報（通称アナール）』の編集長を務められたことでも知られる。今回の招聘は、氏の著作『セレブの誕生―「著名人」の出現と近代社会』の本邦初訳刊行（松村博史、井上櫻子、齋藤山人訳、名古屋大学出版会、2019 年）を記念して企画されたものである。

一連の招聘イベントは、慶應義塾大学（10 月 16 日）での講演会および日仏会館におけるシンポジウム「著名性の誕生―18 世紀、19 世紀における文学と著名性―」、名古屋・南山大学での講演会（10 月 21 日）、そして日本フランス語フランス文学会 2019 年度秋季大会（於　近畿大学、10 月 26 日）での特別講演という流れで進み、18 世紀の研究者のみならず幅広い分野、年齢層のフランス文学研究者との学術交流を実現することができたように思う。各地でのイベントに参加くださった方々、招聘計画遂行に際してさまざまな場面で助力くださった皆さんに、招聘グループを代表し、厚く御礼申し上げたい。

以下は、慶應義塾大学での講演会の原稿の翻訳である。ルソーにおける著名性の問題を取り上げつつ、文学研究と歴史研究の融合の可能性について再検討を促すテクストであると言えよう。